

国立研究開発法人国立がん研究センター理事会（令和5年度第7回）議事概要  
日 時：令和5年10月27日（金）10：30～12：00  
場 所：国立がん研究センター 管理棟 第一会議室 ※Webex 使用  
出席者：中釜斉理事長、間野博行理事、北川雄光理事、平沼直人理事、山内英子理事、  
本田麻由美理事、小野高史監事、近藤浩明監事、島田中央病院長、大津東病院長

## I. 前回（令和5年度第6回）議事録の確認

- ・ 前回議事録について了承。
- ・ 前回議事録署名人を山内理事と小野監事に依頼。

## II. 報告事項

### 1. ViewRay 社の破産について（MRIIdian の対応）

資料に沿って報告された。

#### 【主な意見等】

- ・ 今後、患者さんの治療に対する対応はどのようになるのか。
- ViewRay 社の MRIIdian は日本に3台しかない機器である。しかし、これが稼働できなくなることによって、特定の患者さんの治療が不可能になることは無く、IMRT や SBRT といった、高精度放射線治療装置で十分に治療対応は可能である。患者さんが路頭に迷うことや、Elekta Unity といった他機器がある病院を紹介しなくてはならないという事態にはならない。
- ・ 契約上、法律上の問題は別途対応しているのか。
- 事務取りまとめ担当を中心に、保守契約の問題について、また、機器の使用停止を理由に業績が悪化した場合については、法務的な問題になるので弁護士に入ってもらい進めることとする。
- ・ MRIIdian は海外でも導入実績があるが、海外での対応はどのようになっているのか。
- 概ね日本と同じ対応になるかと思われる。交換部品のストックは国内にあるので、それを使うことで継続的に修理対応することは可能である。国内の他施設ではサポート終了後も治療を継続するところもあると聞いている。しかしながら、当院ではサポート切れ後の機器継続使用は危険と判断し、また、今後アプリケーションのアップデートもなくなることもあり、使用停止の対応となった。

### 2. 2023 年度モニタリング結果について

資料に沿って報告された。

#### 【主な意見等】

- ・ 契約手続きに疑義が発生した案件について、「追加業務の発生を認識していたにもかかわらず、意図的に追加業務を含まない内容での契約を一旦締結し、その後、変更覚書の締結を行っていた。」とあるが、これを発見できたことはモニタリングの有効性を証明できていると思う。一方、意図的不正については難しい点もあるが、注意喚起のみではなく、このような事案がなぜ発生したのかを究明しないと再発防止につながらないのではないか。手続き的に何らかの改善をすれば事前に発見することもできたのではないか。
- モニタリングの中で発生要因についてはそれほど深掘りはしていなかったもので、今後は両キャンパスの調達部門内で検討、対策を進めていただけると認識している。事案

を未然に防ぐための手続き的な改善についても、「今後の対策」への記載が不足していた。

- 今後について担当部門によく検討するよう指示していただいたのか。
- 本件については研究費を使ったイベントの入札行為ということで、本来は、予定価格と大幅に乖離した金額で落札された場合、まず業者に対して業務遂行ができるかといったことを調達部門で確認している。仕様書の理解に齟齬が無いか、契約期間内に履行できるかどうかを担保した上で、可能であると判断した場合は契約を締結することとしている。この取り組みは従前より行っているものであるが、今回のケースは業者が仕様内容を十分認識していなかったものの、履行スケジュールに余裕がなかったこともあり、担当者としては「業務を遂行したい」という思いが先行した結果であると考えている。しかしながら、今後同様の事態が発生しないように、予定価格と乖離した入札が生じた場合は確認を徹底した上で、必要に応じて再入札を行うということとしたい。
- 現場レベルの対応の指示については、モニタリングでの疑義事案確認時に、当該部門のコンプライアンス推進責任者に対して確認された事実を説明し、部門内で検討していただくステップを踏むこととしている。本事案についても同様に、報告書をまとめる前の段階で、コンプライアンス推進責任者である統括事務部長、現場の責任者の財務経理部長に同席いただき、上記について事実確認をとり、今後の対応策を検討していただいている。
- 「どうしても締め切りに間に合わせたい」等様々な背景・動機が考えられる。担当部門・担当者のみで判断をゆだねると、全て自分で解決しなくてはならないと考えてしまうので、早期に管理職に相談し、判断するという体制を確立させるべきと考える。

### 3. 第2回適正経理管理室会議について

資料に沿って報告された。

### 4. 第1回研究インテグリティ TF について

資料に沿って報告された。

#### 【主な意見等】

- ・研究インテグリティを強化するに至った背景を教えてください。
- 産業技術総合研究所における情報流出事案を受け、研究インテグリティを強化する方針に至ったと聞いている。

### 5. 政府の会議の状況

資料に沿って報告された。

### 6. 広報実績等

資料に沿って報告された。

#### 【主な意見等】

- ・World's Best Specialized Hospitals 2024 に関する医療広告ガイドラインへの対応状況について、「日本で1位になった」の表記は比較優良広告に抵触するが、「掲載された」であれば問題はないのか。
- 東京都などに確認したが、掲載されたという事実を公表するのは問題ないが、順位や他病院と比べて優れているといったことを示唆する内容は比較優良広告となってしまう。
- 患者さんを誘導するような内容は問題であると思うが、研究成果が評価されたというような内容も抵触するのか。
- プレスリリースについては患者さんに直接情報提供するものではない。そういったも

のについては医療広告ガイドラインの対象外となる。ただし、情報の出し方によっては患者さんの受診を誘導することになりかねないため、注意して進めていきたい。

- News Week 社及び Statista 社がロゴの使用料を求めてくる場合もあるので、注意していただきたい。
- 相手方とは正式な手続きを踏んだ上で対応させていただきたい。

#### 7. 投資委員会報告

資料に沿って報告された。

#### 8. 9月分医業件数等

資料に沿って報告された。

##### 【主な意見等】

- コンプライアンス研修について、職員全員の参加が必須となっているが、当日やむを得ない理由で参加できない職員への対応はどうなっているか。
- 当日参加が不可能な職員は後日 E ラーニングで受講可能である。
- コンプライアンス研修の内容等について、次回の理事会で共有いただきたい。
- 了承した。